

名古屋大学《未来材料・システム研究所・助教》公募要領

1	募 集 件 名	助教の公募
2	募集者の名称	国立大学法人東海国立大学機構
3	所 属	名古屋大学未来材料・システム研究所 システム創成部門 推進エネルギーシステム工学研究グループ
4	募 集 内 容	名古屋大学未来材料・システム研究所は、文部科学省による「環境調和型で持続発展可能な省エネルギー・創エネルギーのための材料とシステム研究拠点」として認定され、国内外の大学や研究機関の研究者の共同利用・共同研究を通じ、省エネルギー・創エネルギー技術に関する研究を幅広く推進しています。このような研究活動を強力に推進するため、システム創成部門では、地球規模あるいは地域規模において、持続可能でかつ環境調和型のエネルギー変換・インフラ・ネットワークや物質変換・物質循環に関する様々な要素技術開発とともに、それらを高度にネットワーク化させ社会に実装するための方法論の構築を目指しています。また、そのために必要となる高度なエネルギー変換技術・システム、省資源・省エネルギーに資する環境負荷低減技術、リサイクル技術や物質循環再生システムの開発、エネルギーインフラの計画・制御技術の構築とそのために不可欠となるエネルギー・情報・物流に関する高度な情報ネットワーク技術に関する最先端の研究も推進しています。 当研究所では、システム創成部門における研究活動をさらに発展させることのできる人材を求めて、助教1名の募集を行います。 [職務内容（業務内容、担当科目等）] システム創成部門では、高効率で先進的なエネルギー変換システム（デトネーションエンジン等）に役立つ航空宇宙推進工学、熱流体力学等、基盤となる工学分野の学理、技術に立脚し、エネルギーを有効活用し、持続性ある社会実現のための研究開発を遂行でき、さらには、工学部機械・航空宇宙工学科、大学院工学研究科 航空宇宙工学専攻 空力・推進講座 推進エネルギーシステム工学研究グループと連携して教育研究に取り組める人材を募集します。 なお、名古屋大学は業績(研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。)の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 (雇入れ直後) ・ 航空宇宙推進工学、熱流体力学の教育研究 ・ 大学院及び学部における教育研究 (変更の範囲) ・ 東海国立大学機構が指定する業務 [勤務地] (雇入れ直後) 愛知県名古屋市千種区 (変更の範囲) 東海国立大学機構が指定する就業場所 [募集人員] 助教・1名

		[着任時期] 2027年4月1日（以降できる限り早期）	
5	募 集 研 究 分 野	大分類	航空宇宙工学およびその関連分野
		小分類	航空宇宙推進工学、熱流体力学
6	勤 務 形 態	常勤 ・ 契約期間：任期 5 年。任期中の業績・研究の進捗状況等を公正に評価の上、1 回に限り再任可 ・ 契約の更新可能性：有（契約満了時の業務量、勤務成績、態度、能力、法人の経営状況、従事している業務の進捗状況・プロジェクトの継続の有無・予算状況等により判断） ・ 通算契約期間： 東海国立大学機構教員の任期に関する規程の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110011019.html	
7	応 募 資 格	[必要な特定分野の資格・条件（学位などを含む）・専門性等の詳細] ・ 博士の学位を有すること。 ・ 上記募集領域の研究に対して十分な実績と強い熱意・意欲を持っていること。 ・ 自身の専門分野を中心にしながら所内外プロジェクトでの共同研究が可能であること。 ・ 大学院及び学部における教育に熱意と責任感を持ち、協調性をもってあたれる人物。 ・ 本学工学部機械・航空宇宙工学科の運営に協力し、同学科に関連した講義、演習、学生実験を担当できること。 ・ 本学工学研究科航空宇宙工学専攻博士課程（前期および後期課程）の研究指導ができること。	
8	待 遇	[採用後の待遇（給与、勤務時間、休日、保険等）] ・ 東海国立大学機構職員就業規則の定めるところによる。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110010928.html ・ 給与は東海国立大学機構名古屋大学年俸制適用教員給与規程において定める年俸制とする。 https://public1.legalcrud.com/thers_ac/act/110001585.html ・ 専門業務型裁量労働制により、1 日 7 時間 45 分働いたものとみなされる。 ・ 休日：土・日曜日、国民の祝日、年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） ・ 加入保険：文部科学省共済組合、厚生年金、労働者災害補償保険、雇用保険 ・ 受動喫煙防止措置：原則としてキャンパス内は喫煙禁止	
9	応 募 期 間	掲載開始日 ～2026年11月30日 17時必着	
10	応 募 ・ 選 考 結 果 通 知 連 絡 先	[応募方法（提出書類の送付先）] 1. 履歴書（様式自由、写真貼付、電子メールアドレスを含む連絡先記載） 2. 研究業績リスト（①査読付き原著論文、②国際会議、③著書、④総説・解説など、⑤特許、⑥受賞、⑦招待講演、⑧外部資金獲得実績（代表・分担を記載）、⑨学会活動を含む社会貢献に分けて記載）[共著者名はすべて掲載順に記入し、自身の箇所に下線を付すこと。] 3. 主な論文3編以内（上記2. 研究業績リストに※を付すこと。）	

		4. これまでの教育・研究概要（任意形式で A4 用紙 3 ページ以内） 5. 着任後の教育研究に関する抱負（任意形式で A4 用紙 3 ページ以内） 6. 所見を求めうる方（2 名）の連絡先（氏名、所属、電話番号、E メールアドレス） 以上の書類を、応募期間内（必着）に E メールにて提出ください。 書類送付先：名古屋大学未来材料・システム研究所 所長 内山 知実 宛 uchiyama*[*]@[*]is.nagoya-u.ac.jp director*[*]@[*]imass.nagoya-u.ac.jp （メールを送る際は @ 前後の * を削除してください。） ※メールは件名を「システム創成部門 助教の公募（未来材料・システム研究所）」として、上記 2 つのアドレスに送付してください。 全書類をまとめた PDF ファイルを電子メールに添付してください。ファイルサイズが大きい場合は、大容量ファイル転送サービス等を利用してください。 問合せ先：名古屋大学 未来材料・システム研究所 システム創成部門 教授 笠原 次郎 電話：052-789-4404 Email：kasahara@nuae.nagoya-u.ac.jp
		[選考内容（選考方法、採否の決定）] ・書類選考の上、面接を実施します。 ・面接実施者については、電話等で連絡を行います。
11	そ の 他	・名古屋大学は業績（研究業績、教育業績、社会的貢献、人物を含む。）の評価において同等と認められた場合には、女性を積極的に採用します。 ・提出された書類については、本選考以外の目的には使用しません。 ・応募書類は、本選考委員会が責任を持って処分し、返却しません。 ・面接に要する交通費は支給しません。 ・2021 年 11 月「外国為替及び外国貿易法」（外為法）に基づく「みなし輸出」における管理対象の明確化に伴い、大学・研究機関における教職員への機微技術の提供の一部が外為法の管理対象となりました。これに伴い、本公募に応募の際、「類型該当判断のフローチャート」に基づく「類型該当性の自己申告書」の提出が必要となります。また、採用時には「誓約書」の提出が必要となります。 ・本学では、多様性の推進やワークライフバランスの促進に、積極的に取り組んでいます。詳細については以下の URL をご覧ください。 ジェンダーダイバーシティセンター Web サイト：https://www.kyodo-sankaku.provost.nagoya-u.ac.jp/ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョン&ビロギング (Diversity, Equity, Inclusion & Belonging: DEIB) 推進宣言：https://www.thers.ac.jp/about/declaration/deib/index.html ・本学では、県外から本学への応募又は着任を検討している研究者・教員を対象に、地域情報並びに配偶者・パートナー等の就業及びキャリア形成に関する情報提供や相談対応等を行う「パートナー帯同プログラム」を実施しています。 詳細は下記をご覧ください。 https://valueglow.jp/relocation/participant/portal.html?univ=nagoya_u ・出産・育児・介護・病気等の理由により、過去に研究活動を中断・遅延した期間があれば、その点を履歴書に記載することができます。本学ではそれを記載したことにより、不当な評価を受けることはありません。